



2023年5月9日

各位

会社名 OUGホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 橋爪 康至
(コード番号:8041 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 総合企画グループ担当
中村 耕
(TEL. 06-4804-3031)

「OUGグループ 中期経営計画 2021」の進捗および業績目標の一部修正について

当社グループは、2021年5月11日に2021年度から2023年度まで(3カ年)の中期経営計画を
開示いたしました。つきましては、計画2年目の進捗状況を下記の通りご報告いたします。

また、当社は、2024年3月期(最終年度)の業績目標を修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業の進捗

コロナ禍からの社会活動の回復が徐々に進み、内食関連事業は外食・宿泊関連需要に一部シフトが見られるものの比較的堅調に推移し、インバウンド関連需要や輸出についても回復が徐々に進んでおり、水産物荷受事業、市場外水産物卸売事業、養殖事業が堅調に推移したことから、売上高、営業利益、経常利益は2023年3月期(計画)を上回る結果となりました。

(1) 売上高、営業利益、経常利益

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益
2022年3月期(実績)	298,572	2,876	3,092
2023年3月期(計画)	310,000	2,700	2,900
2023年3月期(実績)	325,020	3,990	4,276
差異	15,020	1,290	1,376
2024年3月期(修正後計画)	330,000	3,000	3,200

※ 2024年3月期の計画修正については、後記3.を参照ください。

(2) ROE、ROIC、自己資本比率

(%)

	ROE	ROIC	自己資本比率
2021年3月期(実績)	5.2	2.4	31.8
(参考)2022年3月期(実績)	5.7	5.0	30.3
(参考)2023年3月期(実績)	12.4	6.8	31.6
2024年3月期(計画)	8.0	5.0	35.0

※ 2022年3月期、2023年3月期の計画は開示していません。

2. その他の取組みの進捗

(1) グループ情報基盤の整備

主要事業会社2社（㈱うおいち、㈱ショクリュー）における基幹系システム再構築の取組みについては、鋭意、開発を進めております。今後は特に、先行する㈱ショクリューのシステムの（逐次）完成に向け注力してまいります。また、当該2社の営業データを一元管理するデータベースのデータ拡充と活用的高度化も不断に進めてまいります。

(2) グループ品質保証システムの構築

グループ各社において一定水準の仕組みを有する現状をふまえ、グループ品質保証システムの構築に取り組んでおり、グループ共通の品質理念・品質方針、推進体制（委員会、実務者会議等）を整備しました。そのうえで、各社が品質保証活動計画を策定し、実行に取り組んでおります。

(3) サステナビリティへの取組み

サステナビリティへの取組みについては、グループ各社において既に様々な取組みがなされている中、グループとしてさらに取り組むべき課題を洗い出し、統一的な視点で取組みを進めることとしております。

現在、2023年3月31日以後に終了する事業年度から適用される「企業内容等の開示に関する内閣府令」等に基づく有価証券報告書の記載内容と整合性をとりつつ、経営活動（本業）を通じ社会的課題を解決していくための重要課題（マテリアリティ）の洗い出しに向けた検討を進めております。

3. 中期経営計画（業績目標）の一部修正について

(1) 2024年3月期目標の修正内容

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益
当初目標 (A)	320,000	2,900	3,100
修正目標 (B)	330,000	3,000	3,200
増減 (B-A)	10,000	100	100

(2) 修正の理由

「1.事業の進捗」に記載のとおり、コロナ禍からの社会活動の回復が徐々に進み、足下で内食関連事業が比較的堅調なことに加え、インバウンド関連需要や輸出の回復が徐々に進んでおり、養殖事業で市況の低下や餌料の値上がり等から減速を見込むものの、2024年3月期も水産物荷受事業、市場外水産物卸売事業は堅調を見込むことから、上記のとおり当初目標を修正いたします。

以上